



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 一部60円

11月の意向
【一般】対話
【宣教】司牧者
【日本の教会】死者のための祈り
教皇様の意向のために祈りましょよ

父のように母のように応じる

教区邦人司祭黙想会



会には27人の司祭が参加した。

今回の指導者は野村純一司教(前名古屋教区長)。野村司教は講話の中で、聖書や教皇フランシスコの回勅や大勅書を用いながら、「カトリックの普遍性は地域性も考慮されたものでなければならぬ。全体的なつながりを保ちながら、地域に根ざした福音化を目指すべきである。これまでも古来の風習の上にとりかかり根をおろした信仰、いわゆる「受肉」の信仰が求められてきた。『社会の福音化』は、受肉の信仰の広がりを目指すものである。それは家庭生活の柱となるものであり、社会生活の柱となるものである。受肉するもの

「神の愛」である。神の愛を伝えて、納得させることにおいて地域に受肉させ、普遍的なものとしていくところにカトリックの意味合いが出てくるのである」と話した。

また、「司祭は、家庭や社会がカトリック教会に求めているものは何かを探ろうと懸命でなければならぬ。また、教会を訪れる人には父であり、母であるように。そして、神がどのような人に対してもそうであるように、司祭も『いつくしみと憐れみの心で応じる』ことが必要である。更に、神の御子のあがないによって、再生したすべての生きものは兄弟姉妹としての連帯感を持っていつくしみ深い神を賛美できるようにしたいといけない。12月8日から始まる『いつくしみの特別聖年』に向けて、神のみ心を思

10月19日(月)から23日(金)にかけて、宗像の福岡黙想の家において、教区邦人司祭黙想会が行われた。聖堂でのロザリオの祈りから始まった黙想

皆、元気です。(前列左から3人目が野村司教。この時4人が不在) 野村司教は講話の中で、聖書や教皇フランシスコの回勅や大勅書を用いながら、「カトリックの普遍性は地域性も考慮されたものでなければならぬ。全体的なつながりを保ちながら、地域に根ざした福音化を目指すべきである。これまでも古来の風習の上にとりかかり根をおろした信仰、いわゆる「受肉」の信仰が求められてきた。『社会の福音化』は、受肉の信仰の広がりを目指すものである。それは家庭生活の柱となるものであり、社会生活の柱となるものである。受肉するもの

教皇フランシスコの大勅書 「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」



12月8日(無原罪の聖マリアの祭日)から「いつくしみの特別聖年」が始まり、来年の11月20日の王たるキリストの祭日まで続く。

この「いつくしみの特別聖年」は無原罪の聖マリアの祭日を始めるの日として選ばれました。それは救いの為に聖なる方を産むことになる女性を神がいつくしみのうちに選ばれたからである。また、12月8日は第二バチカン公会議閉幕50周年目の日に当たることもあって、教皇はこの日を定めたのである。

教皇は、いつくしみの特別聖年公布の大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」の中で「わたしたちのまなざしを、もっと真剣にいつくしみへと向けるよう招かれるときもあります。わたしたちが御父の振る舞いを示す効果的なものとなるためです。これこそ、わたしがこのいつくしみの特別聖年を公布した理由です」(3)と述べる。また、「いつくしみ、それはわたしたちの罪という限界にもかかわらず、いつも愛されているという希望を心にもたらすもので、神と人が一つになる道です」(2)と語る。

教皇はこの聖年にあたり、「それぞれの部分教会、つまりすべての信者にとっての母なる教会であるカテドラル[中略]で、いつくしみの扉が、聖年を通して開けておくために開かれることを望みます」(3)と部分教会の直接のかかわりを求めている。

福岡教区ではこれに応え、12月13日(日)の9時半よりカテドラル大名町教会で、宮原良治司教の司式のミサが行われる。

2015年10月25日(日) 八代教会創立125周年と新司祭館の落成を祝う



2015年 福岡教区の日 会場：カテドラル
10時15分～ みことばの祭儀
10時30分～ 講話 信仰活動報告発表 ※<子どもたちへのお話> (1階講堂)
12時30分～ ゆるしの秘跡
14時～ ミサ

「教区の日」に向けて②
見直しの基準がずれているのでは
教区報の先月号で紹介したフランシスコ教皇の使徒的勅告「福音の喜び」と「いつくしみの特別聖年」公布の大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」にはぜひ目を通していただきたいたいものです。

この二つの文書は全キリスト者に向けられて書かれた、いわば教皇からわたしたちへの手紙です。とくに「福音の喜び」でフランシスコ教皇は

わたしたちを「福音の」喜びを特徴とする福音宣教の新しい旅の段階へと招き、今後数年の教会の歩みの道筋を示して「くたさっています。『福音の喜び』番。せつかく「道筋」を示してくださっているの、これを讀まない手はありません。現代の教会の状況を踏まえてのこれからの教会が歩む道筋がそこに示されています。「信仰の伝達」で悩むわたしたちへの答えがこの手紙に

書かれています。キーワードは「イエス」そして「福音」です。信仰が伝わっていない、また、伝えるのが難しいということは、誰でも感じていることです。そのために信仰の見直しをしながらいろいろの方法を模索してきました。活動もしてきました。「教区の日」を何年にも渡って開催し、その度に「活動報告」をしてきました。それにもかかわらず成果は見えてきません。おそらく肝心のことがずれているのかもしれない。たとえば、「救い」「福音」「祈り」「教会」など、大切なこ

「死者の月」に思う。信じる者にとって、「死」は単なる門であって、その先に「永遠の喜びの世界」が待っている。幼い時から、「いつか死んで、天国に入ることが最終的な目的であり、最高の目的である」ということを聞かされてきた。だから、悪いことをしたら、「このままではいけない。見ておられる神様にゆるしを願おう」という気持ちになり、痛悔の念を持つ。人はいつ死ぬか分からないし、もし悪い状態のまま死んでしまったら、天国に入れないと直感するからだ。或る人が言った。「神様は善い方だから、地獄なんて創るはずはない」と。でも、その人が信じているイエスが言っておられる。「地獄はゲヘナ(エルサレムの南の方にはいつもゴミが燃え盛る谷「ゲヘナ」と呼ばれた)があった」のようだ。そこに入らぬようにしなさい」と。イエスは、地獄は神が創ったとは言っておられないが、存在することを言っておられる。そして、「天国に入るためには、聖書が教えているものを大切に守りなさい」とも言っておられる。今の私達にすれば、「イエスの教え」がそれにあたる。イエスの教えの中心は「神と人への愛」である。これを実行していけば、死んだ時、天使が迎えに来て、神の喜びの世界へ連れて行ってくれる。そこにたどり着くまで、イエスご自身が支え、導いてくださる。そのためにイエスは来られたのだから。だから、イエスと共に今を大切(愛)に生きよう。同時に、亡くなった人が天国で永遠の幸せをいただけるよう、救いのためにも祈ろう。(S)

時の話題

いつくしみの家族

10月、ローマで第14回通常シノドス(世界代表司教会議)が開催されたことが報道されている。「カトリック教会と現代社会」における「家庭の召命と使命」というテーマ、すなわち「家庭」がテーマである。日本の司教団は1993年には「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」NICIE2を開催した。バチカンでは1994年に国連の「国際家族年」を受けて、ローマに各国から1組づつの夫婦が招待され分ち合いがあった。国連はまた昨年、「国際家族農業年」を設けている。「家庭」は社会の細胞だから、家庭が元気で平和でなければならぬと誰もが知っているからだろう。日本カトリック女性団体連盟が、今回のシノドスのために出されていた「提題解説」を参考に会員向けのアンケート調査を行った。全国の12団体から130通が回答されてきた。全員既婚者の女性である。家庭で一人だけ信者、夫は宗教が別等様々。その中で家族との関わり、教会との関わりなど設問は38あった。

9割の人が教会に積極的に関わりを持っている。その中の9割以上の人が、子どもや配偶者との死別、失業、重篤な病気、家族の引きこもり、DV、離婚、再婚、あらゆる困難、苦しみを背負っていることが見えた。「教会にどんな支えを望みますか」の問いに、ほぼ全員が「聴いてほしい」「ただ聞いてほしい」とあった。わたしも、家庭も、信仰共同体もみな教会。「いつくしみの家庭」「いつくしみの教会」になれますように。12月8日、「いつくしみの特別聖年」が始まる。大名町教会 深堀邦枝

宣教企画推進部主催 片柳神父講演会 マザーテレサからの贈り物



マザーテレサのメッセージに聞き入る聴衆

神父は、自らの生き方を探すため、1994年にマザーを訪ねてインドのコルカタへ。彼女が施設でボランティアとして働いた。講演では「施設の廊下で突然マザーに腕をつかまれ『神父になりなさい』と促された」と述べ、「悩みに悩んで、祈り続けた末に、ふっと『あなたはこの道に呼ばれています』という声がした。神と向き合うことは自分の心と向き合うこと。心の一番奥深い所に神がいる」と自らの召命を振り返った。



片柳 弘史 神父

マザー・テレサと出合い、司祭になるよう勧められた片柳弘史神父（イエズス会／山口・宇部教会主任）の講演会「マザー・テレサからの贈り物」が9月26日、大名町教会であった。福岡教区宣教委員会・宣教企画推進部の主催。マザーが生きた「愛」について、片柳神父が語る軽妙かつ真摯な言葉に320人が聞き入った。

大学生で洗礼を受けた片柳

奉献生活の年

オペレート会の正式な名称は「汚れなきマリアの献身宣教会」です。イエス・キリストの母であるマリアは私たち修道会の奉獻された生活の根本であり、守護者でもあるのです。マリアに模倣して生きることが大事にしています。貞潔、清貧、従順を生きることも大切にしています。神の国のために独身を貫

「堅く耐え忍ばなければならぬ時」

き、イエス・キリストのよう貧しく、貧しい人と共に歩み、御父の御心に従う生き方に近づけることができるように誓願を立てます。オペレート会はこの3つの誓願に加えて「堅忍」という誓願も立てます。修道会の「会憲と会則」にはこの「堅忍」が「キリストの御父に対する忠誠心の象徴である」と書かれています。共同生活と

使徒的活動とに際して喜びと幸せとを見いだすように互いに助け合わねばならない」とも記されています。共同生活においても使徒的活動においても堅く堪え忍ばなければならぬ時期が必ず訪れます。結婚生活も同じでしょう。「順境の時も逆境の時も」と結婚式では誓約を交わしますが、私たちは弱い人間で

喜びの聖油をそそがれて

は語るものではなく、生きるものではないか」と訴えた。講演中、片柳神父の「世界で一番たいせつなあなたへ」(P.H.P.研究所)のイラストを担当したアーティストのR.I.E.(間弓莉絵)さんも登場。「これからも『神様の手の小さな鉛筆』に徹して絵を描いていきたい」と述べた。参加者はR.I.E.さんの話を



R.I.E.さん

聞いて「一人ひとり、色々なものを抱えてこの世を生きている。弱くていいのだ。私も生きていいのだ」と思いました。「夢、願いを持ち続ける清さを感じました」などと感想を述べた。



元気いっぱいの賛美をささげる参加者

9月21日(月)から23日(水)にかけて、熊本で「聖霊による刷新・九州大会」が行われた。全国からの参加者は約200人。指導司祭のマツケイ神父の「感謝と賛美の神秘」の話や「満たしやいやししの祈

北九州地区 典礼聖歌研修会 祈りをより深くするために...

聖フランシスコの祝日、10月4日(日)午後1時から小倉教会で典礼聖歌研修会が開かれた。講師は大名町教会の岡本峰世さんとオルガニストの平田孝子さん。北九州地区各教会から60人の参加があり「平和の祈り」神よ、私はあなたの平和の道具...を歌い、神様の息を感じるスタートとなった。「誰に向かって歌っているか」



愉快な口調と身振りで指導する岡本氏(右)

す。逆境の心が揺れ動く時にこそ、この堅い「堅忍」の心が必要と創立者は思われたのでしよう。だから、人間の力だけでは続けることができないこの4つの約束を、「神さまの支えがあつて初めて続けることができます」と会士たちは誓願を立てます。来年、会が奉獻生活をはじめから200周年を迎えます。神に感謝。

オペレート会
古川健一神父



自由席

「あたたかいミサ」
フランススコ小田崎鉄雄(54)
行橋教会のミサで、ちよつとしたハブニングが起きた。この日は何かの行事と重なったのかミサに集う人の出足も悪く、また奉仕者も夏風邪で体調を崩した方がいたり、侍者の子どもは一人来てくれたものの時間ギリギリまで待つたが揃わない状態だったので答唱詩編の詩編歌唱を、はじめの方でお願いした。ミサが始まってすぐに、いつも歌ってくれる方も来たのだ歌ってくださることに感謝した。心した。

笹丘教会 レジオマリエ集会1000回目を祝う



聖母マリアに倣い、奉仕するメンバーたち

1000回目の集まり(小教区単位ではプレシディウムという)が行われた。会員は指導司祭の遠山満神父司式のミサに与り、決意を新たにします。レジオマリエは「聖母マリアへの忠誠を誓い、力と祝福を受け、それぞれの場での働きに備えるための集まり」である。マリアを模倣し、病人訪問などの活動を通して、自己を奉獻することを目的としている。教区内には6小教区にレジオマリエの集まりがあり、活動している。

【月例黙想会】
期日：2015年12月12日(土)17時～13日(日)15時
指導者：染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任)
費用：8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com
インターネットで検索
福岡黙想の家 検索

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5



世界難民移住移動者の日

南十字星に導かれて

9月27日(日) 世界難民移住移動者の日を記念し...

この20年という年月の中で多くの恵みを頂いたこと...

直方と黒崎教会の青年たちは、それぞれ月1回の集まり...



竹原実さん一家

竹原実さん一家が日本にたどり着くまで、次々に...

あれから35年、1歳半で日本にきたという3人兄弟...

☆イエス あなたはいつか何者ですか...

まずは無事開催することが出来た事を、この場をお借りして皆様にお礼申し上げたいと思...

九州ダルク20周年記念フォーラム 21年前に蒔かれた希望の種

九州の地で21年前に蒔かれたダルクという希望の種は九州全県に根付くことができた...

活動目的は、「食」を共にすることでお互いを知り、関係を深めていくことにある...

10月10日、12日、おむたハイツ(大牟田市甘木山)にてカノッサ修道女会による...

参加者から、「出逢いが心を豊かにしてくれる実感を体験しました。また、隠れキリシタンや殉教者の心の強さ、信じる強さを発見しました」...

福岡地区の小教区を越えた「中高生わっしょい」が10月3日(土)、光丘教会にて開かれた...

☆祈りのとき 祈りのとき 祈りのとき...



挨拶するマルセル 神父

練習を重ねて茨城ダルク男女メンバーにより和太鼓とエイサー...

福岡教区内のひかり若者たち 食べて、語り合おうが主体です...

カノッサ国際ボランティアの報告や「iサイクル」の活動紹介があった...

「信徒発見、私は何を見つめる？」 直方と黒崎教会の青年たちは...

「中高生わっしょい」 福岡地区の小教区を越えた「中高生わっしょい」...

☆祈りのとき 祈りのとき 祈りのとき...

不動産全般/売買・賃貸・管理 何でもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方...

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 R.C工事 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA

信仰の伝達

11月23日(月・祝)「福岡教区の日」
 皆さんの参加をお待ちしております!!
 (詳細は1面をご覧ください。)

聖書週間 11月15日(日)～22日(日)

神の愛を知り、神の心を受け取るために、わたしたちは新約聖書と旧約聖書を神のことばとして読み、大切にします。「聖書週間」は、すべての人、とくに信徒が、この聖書に「より強い関心をもち、親しみ、神の心に生きる」ようになるための週間です。
 (『カトリック教会情報』より)

北九州地区 聖書講座

年間テーマ：イエス・キリストに従って歩む教会
 ～わたしは、あなたがたを友と呼ぶ～
 日 時：11月15日(日) 14時30分～17時
 場 所：カトリック小倉教会
 テーマ：〔聖書週間〕イエス・キリストに従って歩む教会
 ～ヨハネによる福音書を振り返って～
 講 師：森山 信三 神父(久留米教会)
 主 催：北九州地区信徒協聖書部会

ボランティア交流会

地域や各施設でボランティア活動をされている皆様との意見交換会及び慰労会。皆様多数のご参加をお待ちしております。
 日 時：12月5日(日) 9時受付10時～講話、14時～ミサ
 場 所：カトリック大名町教会 1階講堂
 講 演：民生委員活動から学んだ体験と喜び
 講 師：黒木恵美子氏
 参加費：無料(弁当希望者〔500円〕要予約)
 主 催：福岡地区カトリック女性の会
 問合せ：角田 ☎090・5940・1344

講演会：病む人に寄り添う条件

日 時：12月6日(日) 13時～15時
 場 所：カトリック高宮教会
 講 師：W. キップス 神父(レデンプトール会、NPO 臨床パストラル教育研究センター理事長)
 主 催：カトリック福岡司教区 社会福音化委員会・福祉部
 問合せ：野川 ☎090・9568・0076

第68回 福岡市民クリスマス

2015年12月7日(月)
 場所：福岡市民会館大ホール
 開場：18時
 開演：18時30分
 クリスマスメッセージ：姜 尚中(東京大学名誉教授)
 クリスマスコンサート：NHK福岡児童合唱団「MIRAI」
 主催：福岡市民クリスマス実行委員会(事務局) ☎092-871-2505



いつくしみの特別聖年 開幕ミサ

日 時：12月13日(日) 9:30～
 場 所：カテドラル大名町教会
 司 式：宮原 良治 司教

福岡教区広報室アドレス
<http://fukuoka.catholic.jp>
 E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

編集後記
 おいもわかきも、いもほりに興じるこの頃。自然の恵みを実感する。そして、お米に有りつけぬ頃のいもご飯を思い出す。おやつもいもだった。もう少し経つと、こたつや湯たんぽも頭に浮かんでくるのだろう。その時々、五感を通してよみがえってくる事柄。後の世で父母や祖父母と語れる日が待ち遠しい。

(学法) 泰星学園より
 2016年4月1日付けで、上智福岡中学校・高等学校を経営する(学法)泰星学園(福岡県福岡市、理事長増井啓)を含む国内の5つのイエズス会系の学校法人が合併し、学校法人「上智学院」が発足します。10月15日に文部科学大臣より認可を受けました。

案内板

会合と催し

11月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 11月

10月31日(土)～3日(火) 山口・島根信徒養成講座(空室10)
 2日(月)～3日(火) 聖マリア在俗会黙想会(空室0)
 7日(土) レジオ・マリエ(日帰り)
 7日(土)～8日(日) 月例黙想会(空室0)
 15日(日) ザビエル聖堂献堂二周年記念講演会・ミサ
 講師：山元真神父(小郡・鳥栖教会)
 20日(金)～23日(月) 日本心身医学協会セミナー(空室15)
 *宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX)0940・32・3385
 Email: f-mokuso@fmokuso.com
 インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
 年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編
 ・日 時：11月12日(木) 10時～14時半
 ・内 容：詩編137、147、150
 指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
 問合わせ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
 ・次 回：12月10日(木) 来られる主を迎えて
 詩編72、96 (+ルカ1. 68～)
 ☎0968・85・3100 0968・85・3186
 玉名郡和水町崎浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：11月14日、28日、12月19日
 10時～11時45分
 場 所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(日)	諸聖人 嬉野不動山殉教祈念ミサ
2日(月)	死者の日
3日(火)	召命の集い 文化の日
4日(水)	聖カロロ・ボロメオ司教 法制行政委員会・諸宗教対話部門会議 常任司教委員会 †B. ガラハ(2014年 島崎教会)
5日(木)	カトリック学校理事長・校長・学園長・学長会合 †K. ウーリック(2013年 泰星学園)
6日(金)	聖母園(湯川)落成祝福式 年間第32主日 和田墓地ミサ(14時) †M. マッコネル(2015年 手取教会)
7日(土)	ラテラン教会の献堂
8日(日)	聖レオ一世教皇教会博士 日韓司教交流会(～12日)
9日(月)	聖マルチノ司教
10日(火)	聖ヨサファト司教殉教
11日(水)	伊万里トラピスト修道院盛式誓願式
12日(木)	人吉カトリック幼稚園創立100周年記念ミサ
13日(金)	年間第33主日 茶山教会堅信式
14日(土)	†アトコ浦口均(2007年 老司教会)
15日(日)	聖アンドレ(ハガリ)修道女 司祭評議会・教区本部会議
16日(月)	長崎教会管区司教会議(～19日)
17日(火)	聖マリアの奉獻 カトリック幼稚園中堅教職員研修
18日(水)	王であるキリスト 行橋教会堅信式
19日(木)	福岡教区の日 勤労感謝の日
20日(金)	聖アンデレ・ジュン・ラク司祭と同志殉教者
21日(土)	†R. マグリン(2008年 聖マリア病院)
22日(日)	カトリック学校中堅教職員研修会
23日(月)	†M.C. ハイメ(2003年 トレ・ス)
24日(火)	待降節第1主日
25日(水)	聖アンデレ使徒 教区司祭集会(～12月1日)
26日(木)	†アゾレ春山勝美(2007年 高宮教会)
27日(金)	待降節第2主日
28日(土)	法制行政委員会
29日(日)	聖方サロ・ザビエル司祭 常任司教委員会
30日(月)	初金ミサ・サーリスの集い
31日(火)	待降節第2主日 八代殉教記念ミサ

【12月】
 2日(水) 法制行政委員会
 3日(木) 聖方サロ・ザビエル司祭 常任司教委員会
 4日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
 6日(日) 待降節第2主日 八代殉教記念ミサ

■ゴチックは司教日程

福岡

- 死者の日のミサ (日時) 11月8日(日) 14時から(場所)福岡・和田墓地
- 日曜日18時半の主日のミサ (日程) 毎日曜日(場所)大名町教会小聖堂
- 聖霊による刷新福岡祈りの集い (日時) 毎週月曜11時～12時半(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾
- 震災のための祈りのリレー (日時) 11月11日(水)ミサ6時半から・夕の祈り19時半から(場所)笹丘教会(問合せ先) ☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)
- 死者ミサ・勉強会 (日時) 11月14日(土) 14時から(場所)聖パウロ修道会福岡修道院(指導)夫津木昇神父(聖パウロ修道会) (問合せ先) ☎092・541・3730 松山(聖パウロ協力者会)
- ザビエル聖堂献堂二周年記念講演会 (日時) 11月15日(日) 10時～16時(ミサ15時から) (場所)福岡黙想の家・ザビエル聖堂(講師)山元真神父(小郡・鳥栖カトリック教会主任) (テーマ)いま・在ることのふしぎ
- 心の健康セミナー (日時) 11月29日(日) 14時から(場所)福岡黙想の家・ログハウス(講師)小宮豊氏(精神科医師) (テーマ)人間のこころ(心)とは(参加費)感謝献金(問合せ先) ☎0940・32・2
- 虹の会(子どもを亡くした親の会) (日時) 11月21日(土) 14時～16時半(場所)大名町教会3階会議室(参加費)600円(茶菓子代) (問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田
- レクチオ・デイヴィナ (日時) 11月22日(日) 14時～16時(場所)コングレガシオン・ド・ノートルダム水仙水町修道院(内容)みことばを読む・祈り(分ち合い) (問合せ先) ☎093・871・1166 Sr.東城
- 美野島司牧センター あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分 ◆ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ◆路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日13時 ◆おにぎりの会(秋まつり) 11月15日(日) 14時須崎公園(問合せ先) ☎092・431・1419 M. コース神父
- 北九州召命を共に祈る会 (日時) 11月12日(木) 14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)お祈りと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
- 小倉祈りの集い (日時) 11月27日(金) 13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難会) (内容)みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田
- 熊本地区召命を共に祈る会 (日時) 11月19日(木) (内容)熊古島巡礼(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 浦川務神父

佐賀

- 佐賀祈りの集い (日時) 11月11日(水) 10時～12時(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武
- 熊本 聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜10時半～12時(場所)手取教会信徒会館(内容)賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かちあい(問合せ先) ☎096・384・1693 中川
- 日本カトリック看護協会 福岡支部例会(日時)11月22日(日) 14時から(場所)幼きイエズス修道会内坪井修道院(内容)デンニ神父の講話と分かち合い(問合せ先) ☎096・324・6211 Sr.竹内

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は

メモリーホール

業院・油山・野芥・小田部・今宿
 馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター
 六本松店・赤坂店 福岡メモリーホール

☎0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
 地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
 救命救急センター 地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)
 〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
 TEL0942-35-3322(代表)
 FAX0942-34-3115
<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか?
 =募集=
 医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室

いくま整骨院

平日：9:30～12:00
 14:30～20:00
 土曜：9:30～15:00
 休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
 TEL 092-884-0134
 ペトロ 生熊吉吉

キリスト教書籍・用品
 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター
 10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930